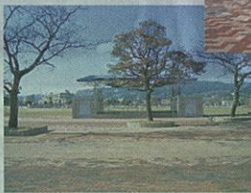


防災公園

末広中央公園



宝塚市



■ 石積み

宝塚周辺では、昔から近隣河川一帯で採掘された玉石積が親しまれてきました。末広中央公園内の石積は現場内で発生した玉石を再利用し、資源の有効活用と地域文化の継承に努めています。

末広中央公園 の主要施設



■ 生活用水槽 (105m³)

災害時の生活用水を貯水します。平常時はせせらぎ、噴水、芝生の散水等に利用します。



■ ステージ棟・太陽光発電・非常用電源

平常時イベント等に使用するステージ棟は、災害時には救援物資等の荷さばき場となります。大屋根は太陽光発電パネルとなっており、バッテリーに蓄積された電気を災害時に利用します。



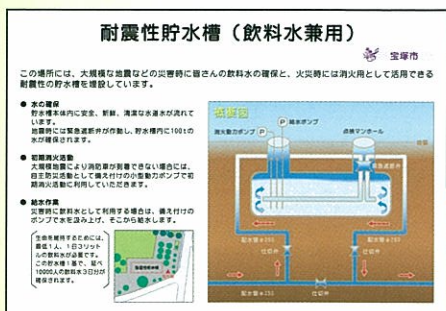
■ パーゴラ・備蓄倉庫

災害時、シートを利用して応急生活空間を確保します。またパーテーションを設置して非常用便所として使用でき、隣接する備蓄倉庫には消防器具、毛布等の備品が収納されています。



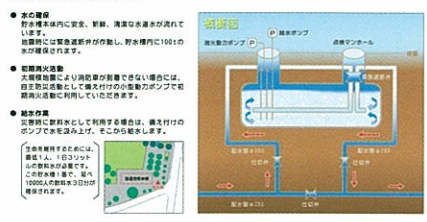
■ シェルター

災害時、シートを利用して応急生活空間を確保します。ベンチは備品の収納、テーブルとしての使用が可能です。



耐震性貯水槽 (飲料水兼用)

この場所には、大規模な地震などの災害時に皆さんの飲料水の確保と、火災時には消火用水として活用できる耐震性の貯水槽を確保しています。



■ 耐震性貯水槽 (100m³)

災害時、避難者の飲料水を確保すると共に、近隣火災時には防火用水としても利用できます。



■ 遊具広場

巨大複合遊具や健康器具など、平常時、幅広い年齢層の方に利用して頂ける様々な遊具を設置しています。災害時は複合遊具にシートを取り付け、応急生活空間を確保します。



■ 井水原水槽 (56m³)

既設深井戸からの井戸水及び雨水を一時的に貯水すると共に、消防用防火水槽としても利用します。



■ エントランス噴水

エントランスに位置する噴水は、せせらぎ噴水と連動し楽しく華やかな演出を繰り広げます。



■ せせらぎ (30m³)・防火樹林帯

噴水演出等により憩いの場となるせせらぎの水は災害時、非常用生活用水として利用します。また、せせらぎに沿った4列の並木は耐火性の強いシラカシで構成され、周辺の火災から避難者を守る機能を持っています。

末広中央公園の整備の経緯

平成 7年 1月17日	阪神淡路大震災
平成11年 2月	防災公園 街区整備事業制度創設
平成13年 2月	宝塚市末広町地区防災公園 街区整備事業スタート
平成13年 2月	旧三和銀行より用地取得
平成13年11月	都市計画決定
平成14年 2月	事業承認
平成14年 7月	工事着手
平成16年 3月	竣 工
平成16年 4月24日	開 園

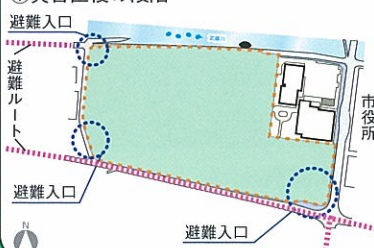
末広中央公園整備事業概要

1. 事業区域 宝塚市末広町 地内
2. 公園種別 地区公園
3. 面 積 約4.1ha (41420m²)
(市街地整備部分 約0.9ha、総面積 約5.0ha)
4. 事業年度 平成13年度～平成16年度
5. 事業名 防災公園街区整備事業
6. 事業主体 独立行政法人 都市再生機構
(旧 都市基盤整備公団)

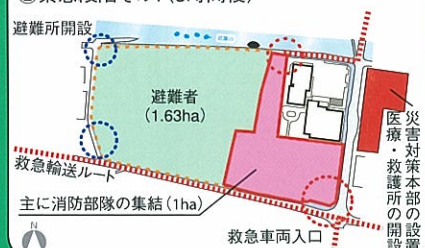
災害時の公園利用形態の変化

災害公園の機能は時間とともに変化します

①災害直後の段階



②緊急段階その1 (3時間後)



③緊急段階その2 (1～3日後)



末広中央公園の位置と一次避難圏域 (500m圏)

